

第1学年 道徳学習指導案

摂津市立鳥飼北小学校
指導者

研究主題

一人ひとりの力を伸ばし、自尊感情を高め、互いに学び合える授業をめざす。

- ①正しく読み取る力を育成する。
- ②自尊感情を高め、道徳性を高める。

研究仮説Ⅰ

国語科の授業を中心に、「読む」「書く」についての取り組みを行うことで、正しく読みとる力がつくだろう。

研究仮説Ⅱ

道徳の授業において、系統性を持ち、すべての内容項目において取り組みを行うことで、道徳性が育まれ、自尊感情が高くなるだろう。

(1) 日時 平成29年11月21日(火) 5時間目(13:45～14:30)

(2) 学年・組 1年2組(29名)

(3) 場所 1年2組教室

(4) 主題名 相手のことを思いやり親切にする心

(5) 内容項目 B-(6): 思いやり

(6) 資料名 くりのみ (学研)

(7) 主題設定の理由

①ねらいとする価値について

きつねがうさぎの優しさに感動して涙ぐんだ気持ちに共感し、人を思いやり相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

②児童の実態

本学級はおとなしくまじめな児童が多い。休み時間には、友達を誘い合って、あまりケンカせずに、上手に仲よく遊ぶことができる。しかし、友達に嫌なことを言

われたり、されたりしても、我慢している子も多く、自分の言葉で思いを伝えるのが苦手な児童も見られる。また、困っている子を見かけても、声をかけることができなくてだまって見ている児童もいる。友達を大切にするためには、友達の気持ちを考えたり、困っている友達を助けたりすることが必要であることに気づかせたい。さらに、自分にとっても気持ちが良いことであることを感じさせたい。

③資料について

本資料は、きつねとうさぎの2匹が登場する物語である。北風の吹く寒い中、友達のきつねとうさぎが、それぞれ食べ物を探しに出かける。きつねはたくさんのだんぐりを見つけてお腹いっぱい食べた後、残りのだんぐりを落ち葉でかくすが、うさぎに再会した時「なにもなくて、はらぺこです。」とうそをつく。すると、うさぎは、自分が2つしか、くりのみを見つけられなかったにも関わらず、きつねに1つわかる。きつねはその行為に涙をこぼすという内容である。


食べ物を独占するきつねの気持ち (before) から、うさぎの優しさにふれたときのきつねの気持ち (after) を感じ取らせ、自分の損得にだけとられず、友達となかよく助け合うことの大切さ、思いやりの気持ちを理解させたい。

(8) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読を聞く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりていねいに読む。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんぐりを独り占めしたきつねの気持ちを考える。 	<p>○きつねはどうしてどんぐりの残りをだれにも見つからないようにかくしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後で食べよう。 ・ だれかにとられたらいや。 ・ やっと見つけたから。 ・ 大切な食べ物だから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーサートを活用し、物語の流れが理解できるようにする。 ・ 自分本位のきつねをおさえる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ きつねがうそをついた心を読み取る。 	<p>○きつねはどうしてうそをついたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくが全部食べたい。 ・ 見つけたのはぼくだから。 ・ うさぎにあげるのはいやだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きつねの心のうちを考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ きつねが涙をこぼしたときの気持ちを考える。 	<p>◎きつねは涙をこぼしたとき、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごめんなさい。うそについて。 ・ ぼくはじぶんのことしか考えてない。 ・ 2こしかないのにくれて、ありがとう。 ・ うれしい。なんていいうさぎなんや。 ・ いいともだちだなあ ・ どんぐりわたそうかなあ ・ うそつくのやめよう ・ きょうのこと忘れないよ。 ・ うさぎさんってかっこいい。 ・ これからは分けっこするよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助発問により深めていく。 ・ 補「うさぎは1つあげたら自分は1つだけになってしまいうけどいいのかな？」 「きつねは、うさぎのことをどう思っているかな」 「うさぎはどうして1つあげたんだろう。」 など。 ・ 反省や後悔の気持ちと、うさぎの友だちを助けようとする思いやりに気付いたきつねの気持ち

			に目を向けさせたい。 ・涙＝感動
まとめ	・学習の感想を書き、発表する。	○今日の学習で考えたことを書きましょう。(ワークシート)	・感想を発表し合い、道徳的価値への気づきや自覚を深められるようにする。



板書計画



ごめんなさい、うそついて
ぼくは、じぶんのことしか
かんがえていない

2こしかないのにくれて、ありがとう
うれしい、なんていうさぎなんや
きょうのこと わすれないよ
うさぎさん かっこいい
これからは わけっこするよ

とをおもったでしょう。

くりのみ

ほかの人にとられたくない
あとでたべよう
ひとりじめしたい
たいせつなたべものだから
ぼくがぜんぶたべたい
うさぎにあげるのは いや
きつねはなみだをこぼしたとき、どんなこ
とをおもったでしょう。